輸送経済　平成27年（2015年）5月5日（火曜日）

運行支援サービス拡充

安全、品質向上を支援

トランストロン

富士通グループのトランストロン（本社・横浜市、大岡信一社長）は、ネットワーク型デジタルタコグラフ（運行記録計）で使える「ITP－WebService」のメニューを充実させている。

三月三十日から、車載機と連携する外部接続機器を拡充し、ドライバーの疲労状態や商品温度などをリアルタイムに管理することが可能に。いずれのサービスも従来通り月額二千円台の料金で提供し、ユーザーに新たなコスト負担を掛けることなく安全、品質向上を支援する。

同社は現在、ネットワーク型デジタコの「DTS－C1」、ドライブレコーダー機能を搭載した「DTS－C1D」を販売中。業界に先駆け導入したネットワーク、クラウドサービスで、多彩な運行管理支援サービスを利用できるのが特長だ。

車両の動態管理が可能なほか、手作業だった運行管理ソフト、地図情報の更新なども全て自動化。システムの維持・更新だけでなく、初期導入費用を含め、ユーザーのコスト負担を大幅に減らした。

3月末から5機種と連携を開始した「DTS－C1」シリーズ

過労運転、厳しく管理

三月末から連携を開始したのは、ドライバーの過労、危険運転を感知する安全装置や冷凍機コントロールパネル、温度センサーで集めた情報を保存するデータロガーなどの五機種。いずれも「ユーザーの強い要望を基にニーズの高い外部接続機器に絞り」（トランストロン）、新サービスの提供を決めた。

連携を始めた安全装置の一つが、富士通の眠気検知システム「FEELythm（フィーリズム）」。耳に装着したセンサーから取得した脈派を、独自の分析手段で解析。通常気付かない予兆段階の眠気まで感知し、異常があればドライバーだけでなく、営業所の運行管理者にも知らせる。

さらに、座席に装着したセンサーパッドでドライバーの体調を常時探知するデルタツーリング社の「スリープバスター」と連携し、居眠り運転に対する警告も実施。九段階の疲労度合いのうち、強い眠気や疲労など運転に支障を来す症状を検知すると、即座に営業所に連絡する。

「FEELythm」は富士通が独自開発した眠気検知システム

車の挙動確認も可能に

このほか、安全装置ではジャパン・トゥエンティワンの後付け式衝突防止補助装置「モービルアイ」との連携により、車両の挙動をリアルタイムに管理することも可能になった。フロントガラスに設置したカメラで、車両や歩行者、車線などを検知。前方障害物への接近時や、事前に設定した車間距離より近づくと警報音を鳴らす。

ドライバーが警告を受けると、ネットワークを経由してクラウドサーバーに転送。危険運転情報を日報に反映する。DTS－C1DAシリーズならば、警報と同時に搭載したカメラで映像を撮影。運行管理者に速報し、車両の動態管理とともに危険運転を直ちに確認できる。

冷凍機と連携も開始

一方、冷凍機コントロールパネルで連携するのは、デンソー、菱重コールドチェーン、東プレの製品。従来ドライバーに任せるしかなかった荷室の温度管理を、営業所からも常時確認できるようにすることで、ユーザーの品質管理を支援する。

新サービスでは、荷室の温度を調整するコントロールパネルと車載機をケーブルでつなぎ、荷室の冷気吹き出し口付近に取り付けたセンサーで温度を常時計測。あらかじめ設定した室内温度に異常があれば、すぐにドライバーと営業所に警告する。

またティアンドディ社の「おんどとり」を活用すれば、荷主が求めるより細かな温度管理も可能に。同製品は荷室に設置した温度を記録する子機と無線通信し、親機（本体）が情報を収集する構成のデータロガー。荷室内で子機を自由に取り付けられることから、多くの物流企業で活用されている。

荷室温度を正確に見える化

これまでもトランストロン製のセンサーで荷室温度を測れたが、計測場所が固定されるため、冷凍機コントロールパネルと併用すると計測差異が起きていた。今後は差異が生じることもなく、いままで必要だった配線工事費などのコストも削減できる。

冷凍機メーカーのコントロールパネル、おんどとりからそれぞれ二つまで情報を取得し、どちらもクラウドサーバーに転送。日報には一分ごとの記録が反映される。

「DTS－C1シリーズが成熟期に入る中、今回の連携は顧客の多岐にわたる要望を現行のサービス価格のまま実現した」とトランストロン。今後もユーザーの声を第一にしながら、安全、品質向上につながるサービスの開発を進める。

サービス利用料はDTS－C1Aの場合、運行支援や動態管理、Q&Aなどを含め、月額二千三百六十円（税抜き）。外部機器の購入、連携ケーブル、取り付け工賃などは別途費用が掛かる。

問い合わせ先はトランストロン情報機器営業部、電話045（476）4640。

（小林　孝博）

「おんどとり」は定温物流を行う先進的な企業で活用されている